

2025

7月24日

トランプ大統領の「アメリカ・ファースト」 AIアクションプランがイノベーションを加速へ —備えはできているか

ピーター・モットラム 著

マネージングディレクター グローバルデータアナリティクス&AIリーダー

トランプ政権は7月23日、世界的なリーダーシップの確保、経済成長の促進、国家安全保障の確保、そしてアメリカの価値観の推進を掲げた包括的な人工知能(AI)戦略の概要を発表しました。米国のAIアクションプランは28ページの報告書にまとめられており、包括的なデータセンターの建設の迅速化、米国のAIモデルの輸出促進、そして米政府が使用する大規模言語モデル(LLM)に「イデオロギー的中立性」を求める3つの大統領令が含まれています。

トランプ大統領は今年初め、バイデン政権が導入したAIの規制ガードレールを撤廃する決定を下しました。規制障壁の緩和に加え、今回の戦略は米国がAI競争に勝ち、特に中国に対してリードを取るための道筋として、AIイノベーションの加速、強固なAIインフラの構築、国際標準と同盟の形成によって米国の優位性を確保することを目指しています。トランプ大統領は報告書の中で、「AIには世界のパワーバランスを再構築する可能性がある」と述べています。

なぜ重要なのか

アメリカのAIアクションプランは、主に規制緩和とオープンソース環境の活用を通じて、シリコンバレーの大手テック企業および米国に拠点を置くスタート

アップ企業のAI開発を加速させることを狙いとしています。政府は引き続き民間企業に主導を期待しており、今年初めには、OpenAI、ソフトバンク、オラクル、MGXの4社が、5,000億ドル規模のAIプロジェクト「Stargate」を立ち上げました。また、今月は民間企業が約900億ドルをデータセンター建設やエネルギーインフラの整備に投資すると表明しました。

本プランでは、政府が米国のテック企業と提携し、「フルスタックAI輸出パッケージ」(AIのハードウェアとソフトウェア)を同盟国で利用できるようにすることで、米国AIモデルを世界標準化することを目指しています。この戦略は、テクノロジー、エネルギー、サイバー、ヘルスケア、公共部門、製造業など、いくつかの部門にわたって成長とイノベーションの起爆剤となる可能性がある一方、以下のような潜在的な課題に備える必要があります。

- **競争の激化**：規制緩和により、特にAI分野に参入する中小企業にとっては競争が一層激しくなる可能性があります。
- **コンプライアンス対応**：セキュリティや輸出管理の規制に対応しなければ、罰則のリスクもあります。報告によれば、90以上の施策が予定されており、

それぞれがさまざまな部門において異なる影響が及ぶと予想されます。

- **人材不足**：労働力確保に向けた取り組みや、AIのスキルやトレーニングの強化にもかかわらず、依然として、専門性の高いAI人材の確保は容易ではありません。

業界の見解

リサ・スー氏 Advanced Micro Devices 代表取締役社長兼CEO、サンタクララ(カリフォルニア州)に本社を置く半導体企業

「米国がAI分野でリードするためには、とにかく早く動かなければなりません。今回のAIアクションプランは、そのために必要な要素を整理する優れた枠組みです。私たちのように、テクノロジーの迅速な普及を目指す企業にとって、大変意義のある日です。」

プロティビティの見解

このプランは広範ですが、同時に良い第一歩でもあります。AI導入の推進と「まずは試す」姿勢により、官民両セクターでのAI投資とイノベーションを加速させるはずで、これにより、政府はAIアプリケーションに必要な計算コストに対処し、標準・指標に関するガイダンスの提供を通じて、競争環境を活性化させていきます。この計画はAIの勢いを引き続き高めることになるでしょう。「信頼性」という指針に忠実であり続けるなら、このプランは次なる“産業革命”の普遍的標準となる可能性があります。AIへの備えがまだの企業は、今すぐ行動を起こすべきです。

結論

米国のAIアクションプランは、政策と施策の包括パッケージとして、米国企業がAIとイノベーションを優先課題とすべきことを示唆しています。ビジネスリーダーは、この体系的な取り組み、標準化の加速、競争の激化に備える必要があります。インフラストラクチャ、オープンソース、セキュリティ、相互運用性、AI制御、大規模言語モデル、スタートアップや学術機関向けの計算資源の支援など、多岐にわたる分野で標準が整備され、導入スピードが上がると見込まれます。もはや企業は傍観している時ではありません。AIはすべての業界を変革する力を持っており、このプランはその変革に向けた「焦点・構造・資金」を提供するものです。もし組織がまだAIに対する準備態勢を評価していない場合、試験的に実施していない場合、あるいはAIの世界でどのように競争するかを検討していない場合は、今こそ着手すべき時です。

VISION by Protivitiについて

VISION by Protivitiは、今後10年およびそれ以降にビジネスを変革する、大きな変革をもたらすトピックを探求するグローバルコンテンツリソースです。経営幹部および取締役会のエグゼクティブ向けに書かれており、VISION by Protivitiは、今日および未来を形作る破壊的な力の影響を検討します。多様な声と多様な視点を通じて、VISION by Protivitiは、10年後、そしてその先のビジネスの姿についての見解を提供します。

プロティビティについて

プロティビティは、企業のリーダーが自信をもって未来に立ち向かうために、高い専門性と客観性のある洞察力や、お客様ごとに的確なアプローチを提供し、ゆるぎない最善の連携を約束するグローバルコンサルティングファームです。25ヶ国、90を超える拠点で、プロティビティとそのメンバーファームはクライアントに、ガバナンス、リスク、内部監査、経理財務、テクノロジー、デジタル、オペレーション、人材・組織、データ分析におけるコンサルティングサービスを提供しています。プロティビティは、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に10年連続で選出され、Fortune 100の80%以上、Fortune 500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロティビティはRobert Half (RHI)の100%子会社です。